

審議会の意見に基づく

「第四次和光市総合振興計画基本構想中間見直し（素案）」の修正点

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
1	中心市街地にふさわしい 駅北口周辺の整備	7. 施策指標	駅北口土 地区画整 理事業の 整備率	平成27年度の目標値を見直すべきである。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	H27の目標値を削除したため。
1	中心市街地にふさわしい 駅北口周辺の整備	8. その他	参考意見	和光市駅北口駅前広場の整備について、進展がみられない。取組内容①に記載のとおり、市民参加を取り入れ、周辺駅前商業地区などの魅力を高めるよう整備を推進してほしい。	第2回安全	中間見直しに反映しません。	—
2	交通の利便性を生かした 産業拠点の整備	8. その他	修正理由 等	施策2の取組が終了した場合は完了とし、施策63と統合することは適切ではない。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
3	良好な景観形成の推進	3-2. 平成27年度の現 状		《全施策共通》現状を記載する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
3	良好な景観形成の推進	6. 取組内容		和光市景観計画の景観づくりの目標に「緑豊かなふるさと」とあるなど、景観づくりにおいて緑が主要な要素となっている。本施策には緑に関する具体的な取組を取り扱うべきである。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	緑については、景観施策的に都市と自然との調和には不可欠な自然的要素になりますが、この施策では、環境、文化財、生涯学習、コミュニティなど、地域資源を継承しながら各分野の取組を総合的かつ計画的に景観形成することが肝要であり、緑の取組だけ具体的に掲げるのではなく、引き続き、環境基本計画、緑の基本計画などの部門別計画と連携してまいります。
3	良好な景観形成の推進	7. 施策指標	市景観計画に基づく景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数	指標名としては、景観重要建造物と景観重要樹木を分けて表示する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
5	安心して暮らせるまちづくりの推進	4. 課題		修正する(市の立場を正しく認識したスタンスに変更が必要)。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
5	安心して暮らせるまちづくりの推進	7. 施策指標	まちづくり条例に基づく完了検査率	「まちづくり条例に基づく完了検査率」を削除し、取組内容に対応する新たな指標を設定する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
5	安心して暮らせるまちづくりの推進	7. 施策指標	市内住宅耐震化率	マンションと戸建てを合わせて指標とすることは分かりにくいので、建物の種類と構造は別々に分けて指標とすると分かりやすい。また、耐震診断件数及び耐震改修件数を指標とする。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
6	安全で快適な道路の整備	3-2. 平成27年度の現状 7. 施策指標		歩道の段差の解消に関する指標を設定する。また、現状欄に成果を記載する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	将来的には歩道の段差解消を実施したいと考えていますが、現在では、限られた予算を計画的な車道の舗装修繕に投資しています。
6	安全で快適な道路の整備	6. 取組内容	②	「浸透性舗装などの環境保全技術を取り入れた市道舗装補修工事を実施します。」に変更する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	将来的には歩道の浸透性舗装を実施したいと考えていますが、現在では、限られた予算を計画的な車道の舗装修繕に投資しています。
6	安全で快適な道路の整備	7. 施策指標		取組内容に対応する指標に変更する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	市民からは道路整備と道路補修に関する要望が多いことから、取組内容①④⑤に関連する指標としました。
7	交通安全対策の推進	7. 施策指標		「市内の人身事故発生件数」について自転車利用者や高齢者の内訳を示す。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	取組内容に対応する指標として、3つの指標を掲載しています。

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
8	都市計画道路の整備	7. 施策指標		《全施策共通》平成27年度目標値を見直す。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	H27の目標値を削除したため。
9	計画的な公園の整備と維持管理の充実	7. 施策指標		《全施策共通》平成27年度目標値を見直す。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	H27の目標値を削除したため。
10	県営和光樹林公園の有効活用	8. その他	参考意見	市民が魅力や誇りとしている和光樹林公園を市としてどのように有効活用していくのかを検討してほしい。	第2回安全	中間見直しに反映しません。	—
11	安全な水の安定供給	4. 課題 6. 取組内容 7. 施策指標		施設等の耐震化に関する指標(改修が必要な施設等の全体量に対する改修率)を設定する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	地震に弱い管については、管路の耐震化及び老朽管更新事業によって行っているところであり、その指標としては、管路経年化率などがありますが、この指標は毎年対象となる管路延長が変化することから、数値が毎年わずかな上昇となること、また、管種や口径によっても更新時期が異なることなどから、市民に対してわかりずらく目標数値としての指標としてはふさわしくないことから、目標数値として設定しない。
12	公共下水道利用の推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安全	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
13	雨水対策の推進	7. 施策指標	雨水管きよ整備率	雨水配水施設としては、管きよの他に開きよや側溝などがあり管きよはその一部であるので、「雨水管きよ整備率」でよいのか見直す。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	平成24年8月に実施した機構改革以降、当課においては雨水管きよの整備のみをつかさどる事となっているため、「雨水管きよ整備率」を指標に採用しています。
14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	6. 取組内容	②	少人数学級の推進や学力向上のためにどのような取組をするのか、より具体的に記載する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	7. 施策指標	すべての7. 施策指標	現状が平成25年度の数値となっているが、最新値である平成26年度の数値を記載する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	7. 施策指標	教員研修会参加人数	「市独自の研修会」から「教員研修会」の変更に伴い、数値が1桁近く変更になっている。事前質問の回答は「内容的には同一の指標である」ということだが、教員研修会には市独自の研修会以外も含めているのではないか。	第1回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	研修会は市独自の研修会のみである。策定当初は市費専科補助教員のみを取組の対象としていたが、より効果を上げるため対象を全教職員に拡大した。そのため数値を変更させていただいた。
15	地域と連携した教育の推進	3-2. 平成27年度の現状		学校応援団への協力者数を増やすためにコーディネーターが重要な役割を果たしている事を追記する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
16	よりよく適応するための支援体制づくりの推進	7. 施策指標	新規	不登校児童数を追加する。(追加しない場合、その理由を明確にする。)	第2回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
16	よりよく適応するための支援体制づくりの推進	7. 施策指標	相談件数	相談件数については、教育支援センターにおける相談件数のみではなく各学校における支援件数を含めた件数とする。(追加しない場合、その理由を明確にする。)	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
16	よりよく適応するための支援体制づくりの推進	7. 施策指標	不登校者割合	不登校者数については「不登校」に加え「その他」を計上する。	第2回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	指標としている「不登校」は、文部科学省の分類に従い、学校に行きたくても行けない、あるいは行かない状況にある児童生徒で30日以上欠席しているものをカウントしています。「その他」については、インターナショナルスクールへの通学や保護者が日本の教育の意義を認めず、家庭での教育を行うため、欠席しているものなど「不登校」にも「病気」にも入らないものを分類しています。児童生徒の教育が市内小・中学校以外の場で確保されていることを確認しています。しかし、保護者の教育方針に深く関わるもので、不登校対策とは直接関わりがないため、指標とする必要はないものと考えます。
17	放課後児童の居場所づくりの推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
18	安全でおいしい学校給食の充実	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
19	安全な学校教育環境の整備	7. 施策指標	新規	防犯対策の強化に対応する指標(防犯対策や安全対策実施数など)を追加する。	第1回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	防犯対策の強化については、本施策の主要な取組ではなく、今後も、予算措置を行って施策の充実を図る予定もないことから、新たな指標は設けない。
20	小中学校の配置・規模の適正化の推進	7. 施策指標	すべての7. 施策指標	備考欄に1校当たりの児童数(生徒数)の平均値を追加する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
21	幼児教育の機会の支援	7. 施策指標	追加	幼稚園児保護者補助対象園児の割合を追加する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
22	生涯学習支援の推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
22	生涯学習支援の推進	4. 課題		原案(5.28 会議)にあった「近隣他市に比べて少ない蔵書数を増加するなど」の文言が削除されたのはなぜか。	第4回安心(追加意見)	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	総合振興計画は10年後を見据えた計画であり、具体的な事項については、施策評価や事務事業評価において評価していく必要があることから、削除しました。
22	生涯学習支援の推進	7. 施策指標		「市民当たりの年間貸出冊数」のH26 現状値(4.8→3.8)とH32 目標(5.8→4.1)が原案から修正されたのはなぜか。	第4回安心(追加意見)	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	市民1人あたりの年間貸し出し数は今まで市外の利用者に貸出した分も貸出冊数に含めてしまっていたことから、今後は市内の貸出冊数で算出することとしました。



施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
22	生涯学習支援の推進	8. その他		H27年の重要度の58.6%は、重要度スコアでは重点プラン以外の施策の中の平均であり、かつH24年調査の48.8%からは大幅に増加していることを勘案すると、あえて「重要度は低い状況」と表現する必要はないのではないか。	第4回安心(追加意見)	中間見直しに反映します。	—
23	充実した生涯学習機会の提供	7. 施策指標		「自主クラブ化数」は削除せず、継続した方が良いとの部会意見が採用されなかった理由は何か。	第4回安心(追加意見)	中間見直しに反映します。	—
23	充実した生涯学習機会の提供	7. 施策指標	講座参加者が自主的活動(クラブ)化した数	削除せず、継続して施策指標として掲げる。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
23	充実した生涯学習機会の提供	8. その他	事務事業について	メールマガジン登録者数の目標管理を各事業の中で行う。	第1回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	メールマガジンは、毎月末に生涯学習課・各公民館・図書館の事業情報を取りまとめ、1通のメールとして送信しているものなので、事業ごとに登録者数の目標管理を行うことはできないため。
24	青少年の育成に適した環境づくりの支援	4. 課題		事前質問のとおり、「現状にあった支援」の詳細を追記する。その際、片親家庭という表現ではなく、一人親家庭、母子家庭、父子家庭等の適切な表現とする。	第1回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	和光市教育大綱の基本方針と整合性を図るため、課題を修正。

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
25	歴史的文化資源の保護・活用の推進	7. 施策指標	文化財関係の講座参加者数	「文化財関係の講座参加者数」を「文化財関係の講座の定員に対する参加率」に変更する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
26	創造的な文化の振興	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
26	創造的な文化の振興	3-2. 平成27年度の現状	市民意識調査	満足度が平成21年度約19%から平成27年度約21%となっており、策定時の平成27年度目標の25.6%までもう少しという状況である。策定時の目標に対してどのように進捗しているか、という点についても記載してほしい。	第4回安心	中間見直しに反映します。	—
27	スポーツ・レクリエーションの環境の整備	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
28	スポーツ・レクリエーションの活動の推進	3. 現状(平成23年度策定時)		3.現状(平成23年度策定時)に記述されている「満足度は9.5%」は、満足度スコア(満足率と不満率の差)の数字であり、他の項目と整合性が取れていないので、修正した方がよい。(9.5→24.1%)	第4回安心(追加意見)	中間見直しに反映します。	—
28	スポーツ・レクリエーションの活動の推進	7. 施策指標	個人開放事業参加人数	備考欄に事業内容を記載する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
29	人権啓発・教育及び平和の推進	3-2. 平成27年度の現状		現状については、インターネットによる人権被害など新しいものを記載する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
30	男女共同参画社会の実現	3-2. 平成27年度の現状		DV、セクハラ、児童虐待についての現状を記載する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
30	男女共同参画社会の実現	8. その他	現状の見直し	「社会全体で男女の地位が平等になっていると考える人の割合」が12.6%から21.8%に上昇しているが、策定時の平成27年度目標は30.0%であることを考慮すると、目標を達成するのは難しい。それらの点を考慮し、現状を見直す必要がある。	第4回安心	中間見直しに反映します。	—
30	男女共同参画社会の実現	7. 施策指標	新規	セミナー開催数を追加する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
31	国際化の推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
33	安心して楽しい育児の推進	3-2. 平成27年度の現状		《こども福祉課全施策共通》現状に策定時からの変化を記入する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
33	安心して楽しい育児の推進	7. 施策指標	子育てサークル団体数	子育てサークル団体数について、市が把握できる指標に変更する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
34	地域における健やかな子育ての実現	6. 取組内容	①	括弧書きでネウボラの記載を追加する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
35	子育て家庭への経済的支援	7. 施策指標	こども医療費受給資格登録率	こども医療費受給資格登録をしていない人の状況を把握し、必要な人が登録できていない場合は目標値は変更せず100%とする。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
39	チャレンジドが安心できる障害福祉の推進	6. 取組内容	①	サービス調整と権利擁護を両方記載する。	第2回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	サービス調整には、権利擁護のサービス調整も含まれているため。
39	チャレンジドが安心できる障害福祉の推進	8. その他	表記について	「障害(がい者)」の表記を確認する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
40	地域で支え合う福祉の推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
41	低所得者の生活の安定と自立への支援	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
43	健康で元気になる食育の推進	7. 施策指標	追加	部会の意見「施策の達成状況を毎年度把握できる施策指標の設定、各年度が取組がもたらす成果を統一した方法に基づいて算出できる施策指標の設定が必要である」に対応できない理由を示す。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
43	健康で元気になる食育の推進	7. 施策指標	健康教室への参加者数	「健康教室への参加者数」を削除するのであれば、それに代わる指標を追加する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
44	安心できる健康づくりの推進	7. 施策指標	保健指導実施者のメタボ改善率	「保健指導実施者のメタボ改善率」について、指標名及び目標値を見直す。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
45	地域との連携による保健・医療体制の推進	7. 施策指標	目標値の見直し	「保健医療サービス」に関する満足度については、平成27年度35.0%となっており、既に平成32年度目標値である30.0%を上回っている。平成32年度目標値を見直していただきたい。	第4回安心	中間見直しに反映します。	—
45	地域との連携による保健・医療体制の推進	7. 施策指標	追加	「小児救急休日夜間診療延日数」と「輪番制による休日夜間診療延日数」を追加する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
46	国民健康保険の適正な運営	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
47	国民年金の普及	7. 施策指標	加入率	施策の現状や方向性の検証のために、分母を国民年金加入対象者数にする。	第1回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	<p>国民年金加入対象者は、国民年金1号+未加入者で算出できるものと考えます。しかし、市では、年金未加入者を把握しておりません。また、理論上、人口-2号(厚生年金)-3号(2号の扶養)で把握できますが、2号被保険者数を市では把握しておりませんので、いずれにしても国民年金加入対象者数を捉えることは困難です。</p> <p>しかし、2号を喪失し、1号の届出を行っていない年金未加入者については、若干存在するものと考えております。そのため、市では届出を行うよう一般的な広報を行っているところです。一方、このような方には、個別に年金事務所で届出の勧奨を行い、最終的には1号資格を職権適用させています(随時)。このため、一時的には未加入者となることもありますが、その期間は数月であり、しかもその数はかなりの少数ではないかと考えております。このため、「加入率」の分母を加入対象者とした場合には、100%になるのではないかと考えます。</p> <p>この「加入率」については、審議会からのご意見を頂き今回指標として追加しましたが、現状で数値を把握できる1号/人口を算出基礎としました。</p>

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
47	国民年金の普及	7. 施策指標	窓口相談件数	件数は窓口相談だけでなく、電話・文書相談も含まれるため、施策指標名を「相談件数」に変更する。	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
48	防災体制・消防支援体制の強化	6. 取組内容	②	「充実を進めます」を「充実を図ります」に修正する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
48	防災体制・消防支援体制の強化	6. 取組内容	④	「庁内連携を図り」を削除する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
49	地域と連携した防犯対策の推進	7. 施策指標	「日ごろから防犯対策を行っている」と回答した市民の割合	現状値を確認し、目標値を再検討する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
50	コミュニティづくりの推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
50	コミュニティづくりの推進	3-2. 平成27年度の現状	市民意識調査	「コミュニティ活動が重要でない」割合が前回(H24年)の7.5%から6.8%に僅かながら低下し、重要であるとの認識は保たれている」うんぬんをあえて記述するのは、重要である比率が40.6%から36.2%へ低下していることを勘案すると、適切ではないのではないか。	第4回安心(追加意見)	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
50	コミュニティづくりの推進	8. その他	市民意識調査	「コミュニティ活動の充実に関する満足度」は平成27年度30.3%となっており、平成21年度36.5%と比較すると下がっている。自治会の加入促進も含め、コミュニティづくりの推進については対策が必要である。	第4回安心	中間見直しに反映します。	—
51	コミュニティ施設の整備	3-2. 平成27年度の現状		今後の整備予定や現在の詳しい状況を追加する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	施設の整備については、「公共施設の配置及び機能の再編等に関する基本方針」に基づいてあり方を検討していくこととなるため、現時点で目標を示すことは困難です。
51	コミュニティ施設の整備	7. 施策指標(新規) 8. その他(施策名)		施策名と目的がずれており、また、その内容についても目的・現状・課題・取組内容・指標がバラバラであり、何を目標としているのか分からない。したがって、施策の意図するところに合わせて組み替える必要がある。施策名を「コミュニティ施設の整備及び活用」に変更し、「施設の整備」の経過を測定できる指標を設定する。また、その活用については、地区ごとに目標を設定する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	施策名にある「整備」は、「直ぐに使えるように準備しておく」という意味で用いており、施策名はそのままが良いと考えております。しかし、ご指摘のように施策の目的との整合は不十分であるとの認識もありますので、施策の目的の表記を修正します。
52	鉄道・バスの利便性の向上	3-2. 平成27年度の現状		修正箇所について、理由を加えるなど詳しく表現する。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—



施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
		4. 課題					
53	消費者保護の充実と消費者力の強化	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安全	中間見直しに反映しません。	—
54	誰もが気軽に相談できる窓口の推進	7. 施策指標	相談件数	目標値の修正は必要ない。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	目標値の修正は、現状値や専門家との契約又は協定に基づいて実施する相談機会の上限数及び各種相談の利用率を踏まえた結果によるものです。相談しやすい環境づくりを進めた結果、相談件数が増えるものと思われませんが、より現実的な数値に修正しております。
55	地球温暖化対策の推進	3-2. 平成27年度の現状		和光市北インター地域土地区画整理事業の開発について記載する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。	—
55	地球温暖化対策の推進	4. 課題解決の考え方と取組		「促進」及び「推進」の使い方を再確認する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。	—
56	湧水・緑地の保全と再生	3-2. 平成27年度の現状 4. 課題		平成27年度の現状について、「区画整理事業」の表現を見直す。課題の前半の文について、「保全活動を継承する若い世代の人材が育っていない」とするなど分かりやすい表現にする。平成27年度の現状に対応する課題を追加する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	消滅した3箇所市民緑地のうち、2箇所が土地所有者の相続、1箇所が区画整理事業の施行に伴い消滅したものであり、事実をそのまま記載すべきと考えました。
56	湧水・緑地の保全と再生	6. 取組内容		取組内容に再生に関する内容を追加する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	取組内容①に「再生」に関する内容が盛り込まれております。

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
						とおり)	
57	水環境の保全	7. 施策指標	雨水小型貯水槽設置数	「市内3河川のBOD値」のみとし、「雨水小型貯水槽設置数」は事務事業評価表の指標とする。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
57	水環境の保全	8. その他	施策名	施策名を内容に合わせ、「水に関する施策の推進」か「水に関する保全」に変更する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	国の環境基本計画においても、同様の取組みで「水環境の保全」という文言を使用しており、本施策の取組みを反映している文言であると考えています。
58	生活環境保全の推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
59	ごみ減量・リサイクルの推進	7. 施策指標	新規	施策指標にリユースに関するデータを追加する。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
60	廃棄物の適正処理の推進	6. 取組内容	②	焼却施設の機種を選定とその焼却施設の整備のための資金の計画を立てる。 最後の文章について、「…その結果に基づき、市民の意見を参考に施設整備を進めていきます」と修正する。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
61	市の特色を生かした地域ブランドの推進	7. 施策指標	新規	「ブランド力」(他者との競争上の優位性)を測定する指標を追加する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ブランド力を測定する指標に関しては、販売実績に基づいたブランド力の測定などの手法が考えられますが、手法としては課題があることから、より具体的な手法としてどのようなものが適切、今後検討する予定としています。そのため、今回の中間見直しの際には、設定を予定していませんが、総合振興計画の見直しの際にブランド力を測定する指標の設定を検討していきます。
62	中小企業の育成支援	7. 施策指標	製造品出荷額・卸売小売業年間商品販売額	製造品出荷額と卸売小売業年間商品販売額を削除する。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
63	魅力ある新たな産業の推進	7. 施策指標	新規	新規企業の誘致件数及び転入数、補助金利用数を追加する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	施策の目的としては、市内企業による新たな産業の創出と及び産業の活性化としていることから、新規企業の誘致件数及び転入数については、総合振興計画の見直しの際に検討します。

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
64	都市農業の推進と担い手の育成	6. 取組内容	③	「農業者と農業者団体と協力し」の部分を削除する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	収穫体験等の事業については、体験の場を提供する農業者等の協力があり実施が可能となります。市民の体験機会を増加させるため、より多くの農業者等に協力を呼びかけるという観点からも、取組内容に記載したいと考えます。
65	就労支援対策の推進	3-2. 平成27年度の現状		就業率についての説明を追加する。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
65	就労支援対策の推進	4. 課題		文章を見直す。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
66	協働型社会の構築	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第1回安心	中間見直しに反映します。	—
66	協働型社会の構築	7. 施策指標	目標値の見直し	「市民と行政の協働の充実に関する満足度」に関する満足度については、平成27年度23.8%となっており、既に平成32年度目標値である10.0%を上回っている。平成32年度目標値を見直していただきたい。	第4回安心	中間見直しに反映します。	—
67	市民参加の推進	3-2. 平成27年度の現状		「運用面での課題」について具体的な内容を追加する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
68	さまざまな連携によるまちづくりの推進	7. 施策指標		「地元の企業や公共研究機関との交流にかかわったことがある人の割合」が、平成21年度15.7%から平成27年度11.7%に下がっているが、意識調査の設問を変えているので比較はできないと思われる。 平成21年度・平成24年度・平成27年度の設問を整理していただき、今後について検討していただきたい。	第4回安心	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ご意見のとおり、平成21年度の調査では経験の有無について単独の設問としましたが、平成24年度及び平成27年度の調査では「市政に関するあなたの経験について」7項目から(○はいくつでも)選択する設問としました。今後意識調査を実施する際は、経年の比較について考慮し、設問を検討します。
68	さまざまな連携によるまちづくりの推進	7. 施策指標	追加	友好都市の交流事業数を追加する。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
69	計画的な行政経営	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
70	効果的・効率的な行政サービス提供	6. 取組内容	①	「簡素で効果的な組織づくり」について継続する取組として残す。	第2回安心	中間見直しに反映します。	—
71	持続可能な財政運営	3-2. 平成27年度の現状		「健全な財政運営に関する条例」を追記する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
71	持続可能な財政運営	6. 取組内容	⑤	実現性のある内容に見直す。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	<p>当市の一般競争入札においては、市内業者育成に配慮し、工事規模、設計金額、格付け等により資格要件を定めています。また、最低制限価格制度や低入札価格調査制度の実施や、国、県同様の点数制(総合評価方式)を試行的ではありますが実施しています。</p> <p>「担い手の育成」、「競争性」では、「工事内訳書」の提出を義務付けることで、見積能力に欠ける者の入札参加の排除(入札時に必要な積算能力の向上)や、ダンピング受注や談合等の不正行為の防止を図っています。</p> <p>また、社会保険の有無、建設業退職金共済(建退共)証紙購入状況を確認し、仕事に打ち込める環境を整えています。</p>
71	持続可能な財政運営	7. 施策指標	経常収支比率	経常収支比率の目標値を実態に合わせて見直した方がいいのではないか。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
72	市民の期待に応える職員の育成	6. 取組内容		市民の期待を把握するための調査等を取組として検討する。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	<p>職員に対する期待度とは、よりよい行政サービス(各施策)を提供・実施することだと考えます。</p> <p>なお、市長への手紙やメール等を活用して市民の声を確認しています。</p>

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
72	市民の期待に応える職員の育成	7. 施策指標	追加	市民の満足度調査を実施し、指標とする。	第2回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	施策72は、よりよい行政サービスを提供・実施できる人材を育成し、各施策に対する満足度が高まることで目標が達成できると考えます。職員の接遇力を高めていくことは必要なことですが、市民との窓口対応がなく実施している施策も多いことから、接遇力を図る指標は用いておりません。
73	市有施設の適切な保全	3-2. 平成27年度の現状		「総合管理計画を策定し、“現有の施設の”総合的かつ…」に修正する。	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
74	積極的な広報活動と情報共有化の推進	3-2. 平成27年度の現状		空欄を埋める	第2回安全	中間見直しに反映します。	—
75	電子市役所の推進	7. 施策指標	電子申請件数	「電子申請件数」を「電子申請化した割合」に変更する。	第1回安全	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	「電子申請化した割合」の分母となる件数の割り出しが困難なため。
76	情報公開制度の利用の推進	7. 施策指標	新規	情報公開請求件数を指標とする。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—
77	広聴活動の推進	6. 取組内容	③	「行政苦情等調停委員会」を「行政苦情等調整委員会」に修正する。	第1回安全	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
--	その他ご意見	市民意識調査	全体	市民意識調査の条件(方法、時期、期間、抽出方法等)は前回と同様の条件とする必要がある。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	市民意識調査の方法、期間等の条件については、調査実施前にこれまでの条件と同様としましたが、時期については異なる条件としました。今後の意識調査については、条件を精査して実施します。
--	その他ご意見	市民意識調査	全体	単純集計の回答者の男女比・年齢層の割合を市の人口データと比較し、回答者が母集団を代表しているかを精査し、回答を補正して分析する必要がある。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	市民意識調査の回答については、調査対象者の抽出条件で年齢構成と男女比を考慮しているため、結果については基本構想策定時と同様に補正せず、単純集計で使用します。ただし、必要に応じて、年代別、地域別に抽出したデータを使用して分析します。
--	その他ご意見	市民意識調査	全体	和光市の行政が何に取り組んでいくかが重要であるため、「重点プランは何ですか」という設問があってもいいのではないか。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	今回の見直しでは重点プランの変更を実施しないため、重点項目を問う設問は設けていません。次期基本構想策定の際は、市民の重点項目を反映できるよう、市民意識調査の設問を含め検討します。
--	その他ご意見	市民意識調査	全体	調査結果を単純集計と比較すると決めるのであれば、それを脚注等で説明する必要がある。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	調査結果を補正する場合は補足説明が必要と考えますが、結果を単純集計で使っている今回は特に補足説明は必要ないと考えます。



施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
--	その他ご意見	市民意識調査	全体	調査結果を単純集計で比較すると決めた場合であっても、例えば和光市で先進的に取り組んでいる高齢者関係の施策などについては、調査結果を対象の年代に補正して分析し、その施策の満足度が高いことをPRする材料にすべきだと思う。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	—
--	その他ご意見	市民意識調査	問2 定住意向	住みやすさの比率は3年前より上昇しているが、なぜ高まったのかを分析できるように見直してほしい。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	「和光市の特徴」の棒グラフ「和光市に住み続けたいと思う主な理由」で平成21年度と平成27年度を並べて比較しています。
--	その他ご意見	市民意識調査	問4、5 定住意向(理由)	「問4-2 公共公益施設が充実している」、「問5-4 交通の便が悪い」などの選択肢について、「充実している」、「悪い」と入ると誘導的になるため、「公共施設」、「交通の便」だけにして、判断は回答者に任せるべきである。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ご指摘のとおり、選択肢に良し悪しの判断が入るのは適切でないと認識しました。今後の市民意識調査の際に、見直しを検討します。
--	その他ご意見	市民意識調査	問14 道路、公共交通の整備状況について	道路、公共交通の整備状況について、道路と公共交通をまとめて聞いているが、和光市は特に鉄道の立地が良いので、満足度については分けて設問とする必要がある。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ご指摘のとおり、道路と鉄道についてまとめて尋ねるのは適切でないと認識しました。今後の市民意識調査の際に、見直しを検討します。

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
---	その他ご意見	市民意識調査	問17 市内の産業について	調査の選択肢に「個々の商店や商店街を充実させ、地域のブランドを作り出すことが大切である」とあり、結果は43.1%という高い数値になっている。地域ブランドといわれても曖昧で具体的なイメージが湧かないため、調査結果で市外へ移り住みたい理由の上位が買物の便が悪いとなっているように、市民は地域ブランドより個々の商店や商店街を充実させることに重点を置いて回答しているのではないかと。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ご指摘のとおり、商店と地域ブランドをまとめて尋ねるのは適切でないと感じました。今後の市民意識調査の際に、見直しを検討します。
---	その他ご意見	市民意識調査	問19 施策1	「駅北口周辺の土地区画整理事業を進める」ことに対する満足・不満足を聞いているが、事業そのものに対する意見か、事業の進捗に対する意見か回答が分かれるため、「進める」という表現は避けた方がいい。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ご指摘のとおり、本設問の表現では回答者によって認識が分かれてしまうことを認識しました。今後の市民意識調査の際に、見直しを検討します。
---	その他ご意見	市民意識調査	問19 施策6	「道路(市道)の補修と計画的な道路整備を進める」ことに対する満足・不満足を聞いているが、整備そのものに対する意見か、整備を進めることに対する意見か答える側も答えにくいと、「道路の整備」とすべきではないかと。	第4回安全部会	中間見直しに反映しません。(理由は右のとおり)	ご指摘のとおり、本設問の表現では回答者によって認識が分かれてしまうことを認識しました。今後の市民意識調査の際に、見直しを検討します。

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
--	その他ご意見	市民意識調査	自由意見	自由記載欄のコメントは市政に関心のある方の意見であるため、是非活用していただきたい。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	--
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	定住意向	棒グラフ「和光市に住み続けたいと思う主な理由」についてタイトルを記載し、回答数が多い順に表記した方が分かりやすい。	第4回安心部会	中間見直しに反映します。	--
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	定住意向	棒グラフについて、回答の多い順に並べ、平成21年度と平成27年度のデータを並列させるのであれば、割合の基準を統一する必要がある。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	--
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	定住意向	文章の中で「5. 6ポイント上昇し、更に高い水準で当市の“住みやすさ”が表れています」とありますが、この調査結果に住みやすさが表れているとは言えないため、「高い水準が前回調査より維持されている」程度の書き方でいいのではないかと。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	--

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	重点プランに対する市民の意識	和光の問題は地域間格差があり、市全体で平均すると重要度は低くなるが、特定の地域では不満が多い場合もあるため、マトリクス表の左下に位置する満足度が低い重要度も低い施策について、何か言及する必要があるのではないか。	第4回安心部会	中間見直しに反映します。	—
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	重点プランに対する市民の意識	議論の段階では複数のパターンのグラフを出し、取り直し・方向性がこれでいいのかという確認のために使ってもいいのではないかと。複数パターンを検討し、最終的に複数のグラフは掲載しないという判断だとしても、資料3左側の文章に「高齢者を抽出すると実はこうでした」などと、きちんと分析をしたと書いた方がいい。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	—
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	重点プランに対する市民の意識	一般の方にもわかりやすいように「相関図」を「分布図」に修正していただきたい。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	—

施策番号	施策名	項目	項目補足事項	意見等	部会	中間見直し(案)への反映	意見を中間見直しに反映しない理由
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	重点プランに対する市民の意識	文章に施策1の今後についての記載がない。施策1は満足度が1番低いので、1番頑張りますと言わなければいけないと思う。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	—
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	重点プランに対する市民の意識	図に0の線を追加し、平均点は点線もしくは●(黒丸)程度の表示にして、目立たないようにした方が分かりやすい。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	—
--	その他ご意見	和光市の特徴(修正案)	重点プランに対する市民の意識	図の「満足度スコア」という表記について、策定時は文章の中で満足度スコアについて上段の文章で説明しているが、今回は文中に「満足度」としか使っていないため、「満足度」にしておくべきではないか。	第4回安全部会	中間見直しに反映します。	—